

研究プロジェクト 「歴史」をめぐるコンフリクト—アンデス地域における「過去」と「現在」—
—代表者：染田秀藤（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

第8回公開ワークショップ アンデス先住民社会の動態と歴史的・文化的コンフリクト

—近現代における先住民教育/古代国家形成期における都市と農村の関係—

日時:平成 21 年 6 月 27 日(土) 13:30 ~ 17:00

場所:国立民族学博物館(吹田市万博公園内)4階 大演習室(4073)

聴講自由

◇発表者および報告題目◇

第1部 大橋 美晴 (大阪大学大学院人間科学研究科博士課程後期在籍)

コムニダーの抵抗から「都市テリトリー」の拡大へ —ボリビア「先住民学校」がもつ「文化生産」役割の過去と現在—

農村共同体に設置された「学校」は農民(先住民)をつねに従属的立場へ追いやる国家に対する抵抗、あるいは、国家との交渉の媒体となってきた。本報告では、「先住民学校」が担ってきた「文化生産」の役割を通時的に分析し、その意味を検討する。

第2部 土井 正樹(京都文教大学非常勤講師)

先史アンデス —国家形成期における都市・農村関係—

紀元 600 年ころ、ペルー中央高地南部に古代国家ワリが出現したと考えられている。本報告では、小規模遺跡の発掘調査の成果にもとづいて、そのワリ国家の形成期における都市と農村の関係を、両者間のコンフリクトを視野に入れながら、検討する。

問い合わせ先:〒562-0022 箕面市粟生間谷東 8-1-1 大阪大学大学院人間科学研究科 染田秀藤研究室

TEL: 072-730-5422

〒565-0871 吹田市山田丘 1-2 大阪大学人間科学研究科グローバル COE 事務局

TEL: 06-6879-4046

E-Mail: someda@hus.osaka-u.ac.jp